

宇都宮市立陽南中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、「とてもそう思う」+3.5、「そう思う」+1.4と肯定的にとらえた割合が高く、自己肯定感の高い生徒が多い。本校の指導の指針である「褒めて伸ばす」が成果を上げていると思われる。

○「学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか」に対して、「そう思う」+4.2と高い。また「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、「そう思う」が+3.1高い。良好な友人関係を築いている生徒が多く、いじめ撲滅に向けた指導や、道徳の校内研究の成果が出ていると思われる。

○「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に対して、「当てはまる」+2.4、「どちらかといえば当てはまる」+5.5高い。地域と連携し、ボランティア活動を進めている成果が出ていると思われる。

●「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して、「3時間以上」が-3.3と低い一方、「1時間～30分」が+2.8と高い。また、「家で、学校の授業の復習をしていますか」に対して「している」との回答は-7.8と少ない。全体的に、家庭での学習時間が少ない傾向がみられる。

・「普段、1日当たりどれくらいの時間、部活動을 しますか」に対して、「3時間以上」が+4.1、「3～2時間」が+12.3と高い。部活動に熱心に取り組んでいる姿があり、優秀な成績も多数収めている。一方で、家庭学習を圧迫しないよう、適切な練習時間での実施を図っている。

宇都宮市立陽南中学校（第3学年）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の確認	保護者に、家庭学習の確認を依頼する。週1回配布されるプリントに、学習している姿や成果物を確認した上で保護者がサインをする。そのプリントを週1回提出し、蓄積し、年に数度ふり返る。	慶応義塾大学の中室准教授の研究知見に基づいて、実施している。今年度4月から実施したので、良好な成果が出ることを期待している。
落ち着いた学習環境の維持	朝の読書の時間を短縮日課でも実施(今年度から)教室の前方黒板は、常に全面が使用できる状態にする。掲示物・清掃用具等の整理整頓ペンキの剥がれた箇所を専門委員が補修	関りの深い質問項目はあまりないが、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、「そう思う」は75.7であり、県平均を+3.8上回っている。学芸委員会が「学力向上に貢献する」という目標をもって活動しており、壁の補修も生徒の手で行っている。生徒の様子では、静寂で落ち着いた雰囲気の中で一日のスタートが切れており、学習環境については保護者・地域の方から良好な意見をいただいている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
学校の授業以外に勉強する時間が、少ない傾向にある。	家庭学習の充実	家庭学習の確認プリントを、「保護者が見よう、生徒が記入しよう」とする意欲が高まるように、改定する。保護者会において、家庭学習の確認について周知を継続していく。